令和６年度第２回働きやすいまち推進協議会　概要

１　日時

令和７年１月 28 日（火）　９：30～10：50

２　場所

本庁舎 10 階市長会議室

３　出席者

札幌商工会議所	紫藤副会頭　様、水落常務理事　様
連合北海道札幌地区連合会	吉田会長　様、山口事務局長　様
札幌市	町田副市長
	齋藤税務・契約管理担当局長、坂井経済観光局長
	北川管財部長、庄中経営支援・雇用労働担当部長

４　次第

⑴　開会

⑵　報告

ア　カスタマーハラスメント対策ポスターの作成について

イ　熊本市の取組みについて

ウ　北海道政労使会議について

⑶　意見交換

ア　令和７年度新規実施予定事業について

⑷　その他

ア　今後のスケジュール

５　概要

⑴　開会

協議会の開会にあたって、札幌市からあいさつを行った。

⑵　報告

ア　カスタマーハラスメント対策ポスターの作成について【資料１】

資料１について、経済観光局経営支援・雇用労働担当部から説明。

札幌地区連合会から、次のような意見があった。

・北海道では、昨年１１月にカスタマーハラスメント防止条例が成立したという状況が生まれている。札幌市でも、昨年９月に作成したポスターの掲示を通じて、市民への周知を図り、カスハラをなくしていこうという取組が広がっていくことが必要だ。

イ　熊本市の取組みについて【資料２】

ウ　北海道政労使会議について【資料３】

資料２について、財政局管財部から、資料３について、経済観光局経営支援・雇用労働担当部から、それぞれ説明。

参加者からは、次のような意見があった。

・賃上げを中小企業まで裾野を広げていくための手段として、労務費の適正な価格転嫁が必要な取組になってくる。

・賃上げをしていかないと、賃金のより良い企業に労働者が流れるという傾向があり、労働力の確保の観点からもバランスが難しい。

⑶　意見交換

ア　令和７年度新規実施予定事業について【資料４】

資料４について、経済観光局経営支援・雇用労働担当部から説明。

参加者からは、次のような意見があった。

・人手不足の対策としての魅力アップの取組や、札幌に来てほしいという取組は、まちの発信にもなると思うので、こういう取組はどんどん進めてほしい。札幌で働きたいという流れができれば、人材確保の関係も少しは改善していくのでは。

・外国人の雇い入れには、費用面も含めてさまざまな課題がある。

・外国人の労働力はこれから必要となるので、外国人受入・定着支援事業には期待している。

⑷　その他

ア　今後のスケジュール

令和７年度についても、協議会を２回程度開催したい。

令和７年度の次回の協議会については、また改めて、今後、議題やスケジュールなどの調整をさせていただきたい。

※　札幌市が説明した資料の内容、今後のスケジュール等については、両団体から賛同いただいた。